

2015年度 地域労福協研修会開催！！

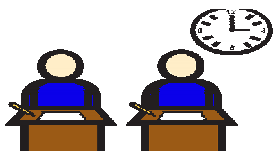
「働く者・生活者の連帯と協同で、共助の輪を地域に広げよう」

福岡県労福協は、年間事業計画に基づき、県内7地域労福協の会員等を対象とした「地域労福協研修会」を開催しました。今年で15回目となる研修会は、9月6日の福岡地域労福協を皮切りに10月15日の南筑後地域労福協まで、延べ207名の出席がありました。出席された皆様には業務終了後や休日にも係らずご参加いただきありがとうございました。

研修会は、中央労福協が掲げる「連帯・協同でつくる安心・共生の福祉社会」をめざすという2020年ビジョンを具現化するために、労働運動・労働者福祉運動が果たしてきた役割を認識、理解し、これからの地域活動に向け、次世代のリーダー育成に取り組む観点から、毎年9月から10月にかけて開催してきました。

2015年度の研修会は、労働組合と事業団体が「ともに運動する主体」として、組合員の利用促進や共助拡大につなげる為「働く者・生活者の連帯と協同で、共助の輪を地域に広げよう」をテーマに、①労働金庫福岡県本部から「公的年金制度の見直しと確定拠出年金制度を考える」②全労済福岡県本部から「損害保険料率の見直しと住まいの保障について」③福岡県生協連から「福岡県生協連と会員生協の事業と運動の実践～地域の中での助け合いの取り組み～」④福岡県労福協から「福岡県労福協の活動について」それぞれ課題を提起し、意見交換を行い、7地域労福協の研修会を終了しました。

また、10月4日開催の遠賀川地域労福協は、四事業団体の講義のほかに、今、社会問題になっている奨学金問題について、中京大学教授 大内裕和氏より『貧困ビジネスと化した「奨学金」 苦悩する若者たち』をテーマに基調講演があり、奨学金問題の実態が明らかになった講演でした。さらに、連合福岡からは、政策制度セミナーとして、田井副事務局長より「まち・ひと・しごと創生法」の概要について、説明があり、その後、意見交換を行って研修会を終了しました。



10月4日(日) 遠賀川地域労福協研修会で基調講演する大内裕和中京大学教授



10月7日(水) 北九州地域労福協研修会で主催者挨拶を行う品川副理事長代行

【2015年度地域労福協研修会開催状況】

地域労福協	開催日	開催場所	参加人員	主催者代表並びに講師				
				主催者代表	労福協	九州労金	全労済	生協連
福岡	09/06(日)	糟屋郡「ホテル夢家」	33名	品川副理事長	深町専務	染井副本部長	岩木専務	宮崎会長
遠賀川	10/04(日)	直方市「いこいの村」	46名	品川副理事長	深町専務	染井副本部長	岩木専務	宮崎会長
北九州	10/07(水)	北九州市「真鶴会館」	43名	品川副理事長	深町専務	染井副本部長	岩木専務	宮崎会長
京築・田川	10/09(金)	行橋市「金龍」	19名	品川副理事長	深町専務	染井副本部長	岩木専務	宮崎会長
筑紫・朝倉	10/13(火)	筑紫野市「労金筑紫支店」	33名	品川副理事長	深町専務	染井副本部長	岩木専務	宮崎会長
北筑後	10/14(水)	久留米市「労金久留米支店」	20名	山城副理事長	深町専務	染井副本部長	岩木専務	宮崎会長
南筑後	10/15(木)	みやま市「正龍館」	13名	欠席	深町専務	染井副本部長	岩木専務	宮崎会長

連合;全国一斉集中労働相談ダイヤルのお知らせ！

・実施日時

2015年12月10日(木)～11日(金) 10:00～19:00

・テーマ

「労働相談ホットライン～これってもしかして・・・“ブラック企業”“ブラックバイト”！？」

・趣旨

近年、いわゆるブラック企業、ブラックバイトに対する世間の関心は大きく高まっています。その実態は、長時間労働、未払い残業、ハラスメント、仕事を休ませてもらえない、辞めさせてもらえない、と様々であります。今回は、これらの問題に焦点を当て、相談窓口を実施します。

・受付番号

全国共通フリーダイヤル 0120-154-052
お悩みの方、お電話待っています。

地域だより

～福岡地域労福協～



福岡地域労福協は、福岡市及びその近郊の糸島市・古賀市・福津市・宗像市・新宮町・粕屋町・志免町・須恵町・宇美町・篠栗町・久山町の5市7町を活動エリアとして、労働者（勤労者）福祉の向上をめざして様々な活動を進めています。

今回は、働く者の生活・暮らしのサポートを目的に2015年10月7日に開催した「ライフサポートセミナー」（会場：都久志会館、参加：19組織64名）を紹介します。

現在、職業生活や社会において、様々な格差が拡大し、不安や悩み、ストレスの中で、メンタルヘルス不調者の増加が問題視されていることから、今回のセミナー第1部は「保険と就労」をテーマにこころと身体の包括的メンタルヘルスケアに取り組む「NPO 法人おせっかい工房 咲風里（さぷり）」の田中美穂理事長より、「自分でできるストレスマネジメント」について、講演いただきました。短時間の講演で基本的な対処法を中心とした内容でしたが、参加者アンケートでは「労働安全衛生の観点から大変重要な課題で、今後、会社や組織の取り組みの参考にしたい」「重要なテーマであり、連続的なセミナーとして、様々な対処法について聴いてみたい」等、テーマに対する関心の高さを示す意見が多く出されました。

第2部では、労働者福祉事業団体である、「ろうきん」、「全労済」より、働く者の生活や暮らしの安定と安心につながる資金計画や保障設計について、組織・事業所単位で実施する「出前セミナー」を紹介し、働く者のライフプランの充実に向けた活用の促進を提起しました。

今回のセミナーについては昨年の参加者アンケートにより多く出されたテーマを設定しました。格差が拡大する厳しい状況の中で、多くの働く者の生活や暮らしを支える労働者福祉運動は、重要な役割を担っています。その活動も、地域の働く者のニーズに合わせた内容が求められています。

今後も働く者相互の共助の輪を拡げる活動を推進します。引き続き、福岡地域の各労働団体・組織の皆様のご支援とご協力をお願いします。



2015 年度 連合福岡：第 18 回定期大会開催！

2016-2017 年度の運動方針を決定する第 18 回連合福岡定期大会(2015 年 10 月 29 日；都久志会館)が、代議員・傍聴者、並びに多数の来賓の参加の中、「ストップ・ザ・格差社会！すべての働く者を連合の輪へ『安心社会』を切り開こう」をスローガンに開催されました。

一緒に考え、一緒に運動を創る

冒頭挨拶に立った高島喜信会長は「1970 年代に確立した憲法解釈が変更され、立憲主義がないがしろにされるという安倍政権の暴挙に直面した。労働者派遣法改正も強行採決され、労働規制緩和が更に進む危険性を孕む。まさに民主主義の基盤が脅かされる事態にあり、連合運動にとって看過できない重要な事態ある」と今日の私たちの取り巻く情勢の厳しさを強調され、明年闘うこととなる第 24 回参議院議員選挙は、働く者の未来を築く上で負けられない闘いであることを訴えました。

運動方針提案に立った西村事務局長は、連合第 14 回定期大会で確認された「問題提起」を全員で共有することが重要であるとの認識から、その要点を提起しました。その柱は、(1)連合内部の組織にとって



連合福岡を代表して挨拶する高島喜信会長

「連合」はどういう存在になっているのか、(2)組合員から見て、「連合」は頼られる存在と映っているのか、(3)次代を担う将来世代にとってどういう存在か、というものでした。結成から四半世紀を過ぎた連合のこれからを、一緒に考え、一緒に創って行こうと呼びかけ、更に議論を深める方向で意思統一を図りました。

続いて、この 2 年間の運動を牽引する第 15 期役員体制を、高島喜信会長はじめ 31 名の役員を確立し、また、今期で退任された 9 名の方々の今後の活躍を、全員で激励しました。

最後に、高島会長の「団結ガンバロー」で閉会しました。

中央労福協；第 4 回地方労福協会会議開催！！

奨学金制度改善の署名活動等、主要課題 4 項目について確認！

中央労福協は、9 月 17 日(木)～18 日(金)の両日、東京都千代田区一ツ橋「如水会館」において、「第 4 回地方労福協会会議」を開催しました。会議には、各県労福協、中央労福協事務局等、合わせて 62 名が出席し、黒河副会長が座長を務め、主催者を代表して山本副会長の挨拶後、新メンバーの紹介がありました。続いて大塚事務局長から、今日までの取り組み報告、各ブロック労福協の報告が行われました。

確認事項・意見交換については、①2015 年度「生活底上げ・福祉強化キャンペーン」の取り組みについて、②奨学金問題に関する取り組みについて(署名など)等、それぞれの取り組みについて、意見交換を行ない、奨学金制度改善に向けた署名活動等、取り組むことを確認しました。事例報告は、①福井県、②徳島県、③山形県、④大分県、⑤東部ブロックから報告があり、1 日目を終了しました。

2 日目は、特別報告として、全労済協会から「地方労福協の関係動産の保障について」、全労済本部から「全福ネット総合福祉プラン」中小企業勤労者福祉サービスセンター会員向け生命・医療保障制度について、報告がありました。確認事項については、①第 62 回定期総会について、②2016～2017 年度活動方針の作成に向けて、について意見交換を行い、取り組みを確認し、2 日間の会議を終了しました。

給付型奨学金制度の導入・拡充と教育費負担の軽減を求める署名にご協力をお願いします。

UPI 2015
国くしやう
みんはのたらし
生活底上げ・福祉強化キャンペーン

**給付型奨学金制度の導入・拡充と
教育費負担の軽減を！**

大学の学費の高騰と家計収入の減少により、今や大学生の 2 人に 1 人が、何らかの「奨学金」を利用しています。さらに、不安定雇用や低賃金労働の拡大により、卒業しても返済に苦しみ、「返したくても返せない」人たちが増加しています。
このままでは、奨学金返済(借金)の重荷で、結婚や出産、子育ても困難になり、少子化・人口減を更に加速しかねません。
未来を担う若者を社会全体で支え、持続可能な社会にするため、奨学金制度を改善と教育費負担を軽減を求めて声をあげましょう！

国くしやう 奨学金 署名活動実施中

2015 生活底上げ・福祉強化キャンペーン 中央労福協



2015 年度 南部労福協:研究集会開催!

労働者福祉南部ブロック協議会（南部労福協）は、10月27日(火)・28日(水)の両日、佐賀市内の「ホテルマリタール創世」において、「2015年度労働者福祉南部ブロック協議会研究集会」を開催しました。二日間の研究集会には、九州・沖縄の各県から関係者総勢135名が参加し、福岡県労福協からも9名が研究集会に参加しました。

研究集会は、吉浦南部労福協事務局長の司会進行で始まり、主催者を代表して相川 司会長から多くの参加者に対し、歓迎のあいさつと研究集会の開催意義について話されました。また、来賓として、佐賀県農林水産商工本部宮崎祐弘副本部長、連合九州ブロック連絡会上田 淳連合熊本会長のお二人からご挨拶をいただき、研究集会に入りました。

一日目の特別講演Ⅰでは、「奨学金問題の現状と課題について」をテーマに、中京大学国際教養学部教授並びに奨学金問題対策全国会議共同代表の大内裕和氏から、奨学金を借りている若者の現状、実態等、詳しく報告があり、その改善に向けた取り組みの必要性を訴えられました。

特別講演Ⅱでは、「安倍政権の行方」をテーマに、西日本新聞社論説委員長の井上裕之氏から、今日までの、安倍政権が行ってきた政策について、厳しく追及し、また、来年の参議院議員選挙は重大な局面を迎えると、訴えられました。



歓迎のご挨拶をする南部労福協 相川 司会長

二日目の特別講演Ⅲでは、「聴いてよ 子どもの声を！」をテーマに、佐賀県警察本部生活安全部少年課警部桑原宏樹氏から、少年サポートセンターの取り組みについて、実際の体験談を交えた講話がありました。

特別報告では、①「労働金庫の課題と展望（沖縄労金を含めてアピール）」を九州労働金庫総合企画部長谷村昌昭氏より、②「全労済の課題と展望」を全労済西日本事業本部事業推進部長延永尚任氏より、それぞれ報告がありました。

最後に南部労福協幹事吐合史郎氏（大分県）より、閉会の挨拶があり、二日間の日程を終了しました。

つかえるろうきん みんなのろうきん **九州ろうきん**

教育ローン キャンペーン

NEW
ATMでいつでもご利用できる
教育ローン(カード型)
始めました!

2016年
3月31日(木)
まで!!

夢に向かって一生懸命な顔を見るのが、いちばんの幸せです。

融資限度額 1,000万円以内

固定金利型	変動金利型	カード型
1.9%	1.5%	1.5%
返済期間 15年以内	返済期間 20年以内	返済期間 20年以内

〇くわしくは、九州ろうきんのホームページまたは近隣の商品展開店舗までお問い合わせください。〇教育ローンの変動金利型については年4回、カード型のカードローンで利用期間中は年4回適用金利を反映します。〇各借入後に返済方法（返済額・返済回数など）を変更される場合は手数料（申込金4,400円）がかかります。カード型は、元金返済期間中に返済額が変更される場合があります。〇変更内容によっては返済額が増える場合があります。〇ご返済額の目安は金銭的に余裕のある範囲で。パソコンや携帯電話から九州ろうきんホームページの「ローンシミュレーション」もご利用いただけます。〇保証内容は2016年11月1日現在とする場合があります。〇融資には保証がご用意です。お金の借入れ、ご返済に遅れない等もご用意していますので、あらかじめご了承ください。〇ローン審査はご本人の信用、収入、返済能力に基づき行われます。〇返済は毎月必ず行われます。

<http://kyugou.co.jp> 九州ろうきん 検索

ZENROSAL NEWS 4015B020

全労済の住まいる共済

(新)火災共済・(新)自然災害共済

全労済は、営利を目的としない保障の生協として共済事業を営み、組合員の皆さまの安心とゆとりある暮らしをめざしています。出資金をお支払いいただいて組合員になれば、各種共済をご利用いただけます。

保障のことなら

全労済 **全労済福岡県本部**
(福岡県労働者共済生活協同組合)

全国労働者共済生活協同組合連合会

